



㊦ しっかりかんがえ ㊦ もいやりのある ㊦ みんななかよし 潮見っ子

潮見の風 4号



令和6年4月30日
校長 惣田 正宏



ホームページ

いよいよ5月。夏も近づくハ十八夜♪

早いもので明日から5月です。子供たちも担任の先生や新学年にも慣れ、楽しい学校生活を送れているようです。先週から家庭訪問を実施させてもらっています。あいさつ訪問ということで、ゆっくりお話しはできませんが、「保護者の方と話ができる。」「家の場所を把握して周りの環境も把握できる。」という目的があります。このことが、子供たちの心身の安全を守り、保護者の方と協力して教育をしていくために必要なものと考えています。最後までご協力をよろしくお願いいたします。

さて、明日は「十八夜」です。♪夏も近づく十八夜 野にも山にも若葉がしげる♪ この頃から田んぼでは、苗代づくりが始まります。また、歌詞にもあるように、新茶葉の茶摘みをし、新茶が出回ります。私が住んでいる近くの早岐瀬戸では、連休中に早場米の田植えが始まりました。私は、その田植えの様子や春の花々、そこに集まる昆虫などの写真を撮りに出かけました。全国的に高温で、気持ちのよい薫風の季節は短そうですが、今週末の4連休、家族で新緑を楽しみに出かけませんか。



初めての「授業参観・懇談会」多くの参観ありがとうございました。

23日に、今年度初めての授業参観を実施しました。各学年たくさんの参観、ありがとうございました。子供たちも楽しみにしていて張り切っていました。2階、4組は「自立活動って何？」ということで、特別支援学級の特別な学びの自立活動について理解し、4月の目標を決めていました。3・5組は合同で、図画工作「ころがして きてつুকろう」をやりました。先生方や保護者と一緒に、好きな色をローラーで転がし、思いついた形に切って作品を作っていました。1年生は小学校での初めての授業参観。国語の導入「はなす よむ かく く」について2週間の学びを披露していました。2年生は、「わくわく どきどき 2年生になって」(生活科)で、2年生になって楽しみにしていること、頑張りたいことをしっかりと発表していました。

3階、3年生は算数のわり算の問題に挑戦していました。初めての先生を助けようと、普段より頑張る姿が見られ嬉しくなりました。4年生は社会科「長崎県についてよく知ろう」ということで、地図帳を使いながら長崎県のことについて学んでいました。5年生も社会科。「世界の主な国と日本の位置や国旗」について、聞いたことがある世界の国々が世界地図のどの位置にあるのかをクイズ形式で学んでいました。6年生は、対角線の数などを調べながら、どんな正多角形にも当てはまる「きまり」を見つけっていました。

先生方も緊張しながらも少しでも楽しく子供たちが学べるよう頑張っています。応援していただくと力になります。今後ともよろしくお願いいたします。



コミュニティスクール 第1回運営協議会

本校は、昨年度からコミュニティスクールとして教育委員会から認定され、学校・家庭・地域が、連携・協働した特色ある教育活動とおして、夢をもち、豊かな心で、仲間と共に学び、地域とともに生きる潮見っ子を育成します。この学校運営協議会は、地域・保護者の代表と学校が目標やビジョンを共有し、その実現を目指すために協議します。年4回開催する予定です。今回が1回目になります。

学校経営についての説明・承認、年間計画とそれについての協議をしました。子供たちのために協働していきます。



学校再編 教育委員会説明会

23日育友会総会の前に、学校再編のスケジュールについて、教育委員会担当の方に来ていただいて説明を受けました。令和13年度には白南風小学校跡地に新校舎が建ち、3校が合併して新小学校が開校します。いつから白南風校舎を解体し、それに伴って白南風の児童を受け入れるのか、校名検討や統合準備はどう進むのか、スケジュールが説明されました。なにかご質問等があれば学校へお寄せください。

校庭の花々や若葉がきれいです！

穀雨の頃、生き物を育てる柔らかい雨が降り、校庭の若葉や花々が一層鮮やかになっています。本校は、子供たちのために岩石園や花の散歩道を周年記念事業で作り、それらが子供たちの学びに役立っています。木々や植物が実に多種多様に植栽されています。それらが、季節を感じさせてくれます。春の今の時期、フジやツツジ、芝桜、カナメモチやなんじゃもんじゃの花（ヒトツバタゴ）などが咲き乱れています。紅葉も花が咲き、種ができています。今日は久しぶりに気持ちよく晴れて、それらを見ると気持ちも明るくなります。



命を守るための交通ルール！

先日ある会議で、本校の近所に住む方からお話がありました。交通事故に遭うかもしれないという心配での話です。



場所は潮見小学校下の横断歩道。ほとんどの児童がここを横断して、それぞれの下校ルートに分かれて帰ります。登校時は毎日、見守り隊の方が危なくないよう横断を見守っていただきます。私もたまに登校の様子を確認に行きます。その時は声かけに従って、走ることなく落ち着いて横断することができています。ただ、時々心配になる時があります。それは、「自分で車が来てないか確認して渡っているのか？」ということです。

下校時は、学校の校門を出るや否や走り出す児童がいます。急な下り坂でスピードが出すぎて転び、泣き出す子がいます。「車なんて来ないだろう！」という思い込みで、急なカーブで止まれず、車がきてヒヤリとする場面もあります。一番心配で交通事故につながりやすいのが、そのままのスピードで、左右も確認せず横断歩道を駆け抜ける児童がいることです。近所の方の話も、まさにそのことでした。低学年の児童だということでした。子供たちのことを思って心配されています。

学校下の道路は、駅前に抜けることのできる便利な道です。道路幅が狭いので、そこまでのスピードは出ていないようですが、児童の登下校時は多くの車が行き交います。1・2年生は、12日の交通安全教室で、この横断歩道の



渡り方について学んだばかりです。「注意一秒 ケガ一生」と言いますが、自分が交通事故に遭わないよう学んだことを生かして安全な渡り方を実践してほしいものです。

命を守るための避難訓練！

26日、今年度第1回目の避難訓練を実施しました。毎年1回目は、新1年生が入り、避難の仕方や避難経路の確認をするために行っています。

理科室から出火という想定での避難訓練です。低学年は、まだ難しいのかもしれませんが、自分の命は自分で守るために、今どういう状況なのか「自分で考える」ということを大切にしています。

今回であれば、火災報知器が鳴った。→火事が起こったことを知る。どこで起こったか知るために放送をしっかりと聞く。→放送「火事の場所を確認中（職員が初期消火を試みる）」→初期消火失敗→校長が児童全員の避難を指示する。→「理科室より出火、先生の指示をよく聞いて避難開始。」→全員避難。となります。

自分で考え、落ち着いて行動できる児童になってほしいと思います。そのためには1回1回の避難訓練を大事にしていきたいです。



校長の独り言① 心を豊かにする体験を！

昨年の5月にコロナウイルス感染症が5類に移行してから、ちょうど1年が経ちました。今年のゴールデンウィークの様子を見ると、完全に日常が戻ってきています。我慢を強いられてきた子供たちにとって、それをどれだけ求めていたのか、最後に実施した6年生へのありがとう集会は、特にそのことを強く感じました。マスクを外し、お互いの表情を見ながら体験や学びをするということが、どれだけこの時期の子供たちにとって大事なことが今更ながら実感することができました。

私事ですが、3連休に佐世保で行われた二つの落語会を聴きに行きました。一つは、2年続けて本校に来ていただいている佐世保出身の落語家、三遊亭らっ好さんの独演会、もう一つは、もう34回続いているかっちえて落語会です。かっちえて落語会は、春風亭一朝・一之輔親子会でした。一之輔さんは、笑点のレギュラーにもなり、今一番人気のある落語家の一人です。初めて一之輔さんの落語を聴きましたが、満員の観客のすべてを引き付ける話芸に、なぜこれほど人気があるのか納得できました。西の果て佐世保でも日本の伝統芸能や本物の芸術、文化に触れられる幸せを感じました。

そして、これら本物の伝統芸能、芸術、文化を潮見小の子供たちに触れさせてあげたいと強く感じました。「心を豊かにする体験」。アフターコロナで一番大切にしたいことだと考えています。